



# Chitose Rotary Club

佐々木会長テーマ  
“心ひとつに”

会長 佐々木 金治郎 副会長 大西 信也 幹事 佐藤 晴一  
会長エレクト 今村 静男 会計 酒井 宏  
第2510地区ガバナー 佐々木 正丞 第7グループ・ガバナー補佐 古川 大之

～ 10月は職業奉仕・米山月間 ～

本日の例会 (10月21日 第17回) 早朝例会 (分収造林の作業)

担当：環境保全委員会  
～千歳ロータリーの森林(もり)～

## 2010年～2011年度 第15回(通算2134回)例会報告

日時：2010年10月7日12:30～13:30  
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳  
プログラム：ゲスト卓話  
担当：職業奉仕委員会  
司会：SAA・プログラム委員長 村田 研一

## 四つのテスト



職業奉仕副委員長  
敦賀 秀生

## 「職業宣言」の朗読



職業奉仕委員長  
村上 倫行

## 会長挨拶

会長 佐々木 金治郎



今日は、素晴らしい秋晴れのよい天気で、支笏湖から柳谷さんと一緒にドライブかたがた例会にのぞみました。支笏湖の道路沿いも、それなりに色づいてきて、秋が深まってくるんだなと思っています。今日は、朝のニュースで素晴らしいことが載っていました。北大の鈴木章名誉教授がノーベル賞を受賞したということで、北海道民としては初めてのことで、北大にとっても初めてのことです。本当に素晴らしいと思います。特に、大澤会員にとっては先輩に当たりますので、おめでとうございます。そして、これはまだ確定ではありませんが、千歳商工会議所の新しい会頭に瀧澤会員が内定したということで、これも素晴らしいニュースです。本当におめでとうございます。

本日は、10月の一回目の例会です。早いもので、すでに3カ月が過ぎてしまいました。今日は職業奉仕委員会の担当例会で、私どもの支笏湖国立公園エリアを女手一つで管理されている、柳谷自然保護官をお招きしての卓話です。保護官は2回目の卓話でして、今日、車の中で話していましたら、国立公園ばかりでなく別なことを話しながら楽しいお話をさせていただきたいとのことでしたので、皆さん期待して聞いていただきたいと思います。

また、明日10月8日は社会奉仕委員会の今野委員長のもとで進めているピンクリボンチャリティーゴルフコンペが、ちとせインターゴルフクラブで行われます。また、コンペの後には懇親会がありますので、皆さん、大変お忙しい中だとは思いますが、今野委員長が張り切ってやっていますので、多くの方のご参加、ご支援をいただきたいと思ひます。

今月1カ月が始まってまいります、どうぞよろしくお願ひします。

幹事 佐藤 晴一



地区大会ですが、17日に本大会が開催されます。札幌市民会館で9時から本会議となっておりますので、会員の皆さんは8時45分までに市民会館にご集合願います。また、交通手段ですが、セントラルロータリーとも話し合いをした結果、個々に現地集合の方が良いということになりまして、当クラブも個々に市民会館に集合ということにしますので、よろしくお願いいたします。

11月14日に神戸南RCへ訪問する企画を考えています。参加人数を把握したいと思いますので、月曜日までに参加するかしないかのご返答をお願いいたします。日程、予算などにつきましては、参加者の方々の把握した時点で、早急にご連絡いたします。

千歳民報さんが、10月11日で紙齢1万5000号達成ということで、当クラブからも広告を出しました。

21日は分収造林での作業となっております。朝早いのですが、皆さんの参加をお願いいたします。また、分収造林に関しまして、前回の理事会において、ロータリーの森林の看板が古くなって生きているので補修したいという提案がありまして、若干の金額を出して看板の補修を行うことを理事会で決定いたしました。

21日は分収造林での作業となっております。朝早いのですが、皆さんの参加をお願いいたします。また、分収造林に関しまして、前回の理事会において、ロータリーの森林の看板が古くなって生きているので補修したいという提案がありまして、若干の金額を出して看板の補修を行うことを理事会で決定いたしました。

## ロータリー情報

ロータリー情報・定款・細則委員長 末廣 孝



今年度、初めてのロータリー情報です。私は、ロータリーに入ってから25年くらいになりますが、このようにロータリーとは何かということをお話するのは、なかなか無い機会です。

先ほど会長が言われましたように、北大の鈴木先生がノーベル賞を受賞されましたが、30年も前の研究が評価されたということです。やはり、ノーベル賞を取るとことは素晴らしいことです。どこかの議員さんが、「一番でなくてはだめなのか」と言ったりもしていましたが、やはり一番は良いものです。日本もいろいろな面で世界に貢献しているのだと思います。

ご存知の通り、ロータリーは100年以上の歴史があるのですが、日本においても90年が経っています。90年の間に東京、大阪、神戸、京都とロータリアンが増えてきたのですが、我が北海道の札幌クラブは8番目ということです。昨年、福田情報委員長が出した資料を見ると、日本でのロータリーの歴史がわかります。皆さんも、是非読んでいただきたいと思います。

ロータリーというのは、高い志を持った団体で、国際的にもいろいろな所に貢献しています。我々、千歳ロータリーがこの街にどのように貢献しているのかというと、いろいろな職業の人がいて街中で仕事をして

貢献している、これがロータリーの貢献だと思います。また、このように例会に出席して、隣の人とロータリーに限らない話し合いをしたりすることが、我々の本当のロータリーの活動なのではないかと思えます。ですから、出席をするということが本当に大事なのだと、私はいつも思っています。出来れば、いろいろな人と接して、いろいろな人と話し合いをする、そういう場を作っていくことがロータリーなのだと思います。例会を見ていると、皆さんはいつも同じような所に座られています、出来ればいろいろな所に座って、いろいろな人とお話をすることも大事なのではないかと思えます。ロータリーとして、これからも仲間同士、仲良く、楽しく例会を行っていきたく思いますので、よろしくお願いいたします。

## ゲスト卓話「地域の営みと資源を守る観光の模索」

職業奉仕委員長 村上 倫行



今月は、職業奉仕月間ということで、職業奉仕委員会担当の2回目の例会となります。今回は、環境省北海道地方環境事務所 支笏湖自然保護官事務所 自然保護官でおられる柳谷牧子さんに三顧の礼を尽くして、卓話をお願いしました。

柳谷さんのプロフィールですが、2004年3月に慶応義塾大学総合政策学部を卒業された後に大学院に入られまして政策メディア研究科を修了されています。その後、環境省に入省され、本省の野生生物課に1年おられた後、関東地方環境事務所国立公園保全整備課野生生物課併任へ異動されております。そして、2008年4月に支笏湖自然保護官事務所自然保護官として現在に至っております。この卓話が終わってから、大澤さんと3人で東千歳バーベキューへ鳥の半身焼きを食べに行ってきます。これを、私からのお礼したいと思います。卓話のタイトルは、「地域の営みと資源を守る観光の模索」ということです。

環境省北海道地方環境事務所支笏湖自然保護官事務所  
自然保護官 柳谷 牧子 様



本日は2回目の卓話ということで、2回も呼んでいただきありがとうございます。1回目というのは、自己紹介にプラスアルファぐらいで時間が来まして、ある意味気楽にやらせていただいたのですが、2回目はどのよ

うなお話をしようかとかなり悩みました。私自身が今仕事の中での考え方をどのようにしていけば良いのか悩んでいる時期だったので、その辺りが明確になればそれをお伝えするというのもできたかもしれません。まだ悩んでいた時期だったので、これは困ったなと思っていました。そこで、今回はその悩みをそのままお伝えしようかと思っています。

### 鎌倉のスケール感と支笏湖のスケール感

どうして、ここ支笏湖自然保護官事務所で勤務している中で悩まなくてはいけなかったかというと、簡単に申しますと、スケール感の違いというものに戸惑いを覚えたということがあります。初年度にこちらでお話をさせて頂いた時には、そのことに気付いてはいなかったと思います。J8サミットがあったり、60周年があったりなどして、ひたすら忙しくて、気付いたり、振り返ったりする時間はありませんでした。それらが一段落した中で、北海道弁で言うところの「あずましくない」感じというのでしょうか、仕事をしている中で「あれ、何か違うな」というような違和感を感じていました。自分が、ずっと26年間くらい過ごしてきました鎌倉とその周辺を振り返っていく中で、「ああ、こんな違いがあったのでちぐはぐしてしまったのかな」ということを感じましたので、今日はその鎌倉のお話をさせて頂きながら、悩み途中の私の話を聞いていただければと思います。

これが、私の故郷である鎌倉を空中から撮った写真です。鎌倉の面積ですが、約40平方キロメートルです。支笏湖の面積はというと約80平方キロメートルですので、鎌倉が2つ入ってしまう、それだけ大きいのです。そのことに気付いた時、「ああ、スケール感が違うんだ」と思い、私はこの鎌倉の中で暮らしてきてそのスケール感の中で物事を考えていたので、ちょっと合わないこともあったんだと思いました。支笏湖の中には鎌倉が2つ入ってしまう、北海道というのはそういうスケール感を持つ場所なのだと思います。

これは、北鎌倉というところの近くにある細流です。私たちはこれを見て、川だと思うのです。そして、これを川だと言ったときにたまたま北海道出身の方が一緒だったのですが、「これは川ではない、河川敷はどこなんだ?」と言われて、いろいろ考えてしまいました。自然保護を考えると、「この川の底にある護岸を外して石などを置けばカニが戻ってくるのではないか、魚が隠れることができるのではないか」というみみっちい事をやってきたわけです。私の大学院での研究も川幅1、2mくらいの細流をどのように維持してメンテナンスしていくか、というのがテーマになっていましたので、千歳川のスケールは非常に大きいのです。そして、誇りを持っていただきたいのは、とても素晴らしい川だということです。

### 地域の人々の生活と観光資源

今日の一つの観点として、鎌倉は一大観光地として認知されています。その観光資源とその地域に住む人々がどのようにつながっているのかという点でお話をさせて頂きたいと思います。さきほど申したように、非常に狭いので観光資源と人々が密着せざるを得

ないのです。もちろん、その利点もあります。

これは、私の家のすぐ近くにあるのですが、鎌倉文学館というところで、加賀百万石の前田家の末裔の方の別荘地になっていました。一時期、佐藤元首相の別荘にもなっていたこともあります。ここは、入館料もかかるのですが、句会なども日常的に開かれており、私の母もここに良く出入りするなどしており、地域の方々が生活の中で使っているような施設でもあります。

これは、早朝の鎌倉の風景です。由比ガ浜商店街と言われるところですが、高さが規制されています。この建物は消防署の建物なのですが、低層で抑えられています。2005年くらいに法制度ができたのですが、それまでは法律は特になく、高さ規制というものが全くない中で行政指導だけでこの高さを守ってきました。もちろん、行政指導だけでは守らない、嫌だ、という方がいる場合には、それに押されてしまっただけなのですが、このように保たれてきたというのは、地域の方々による市民の声があったからでした。

鎌倉に来ていただいて喜ばれるのは、このような細い道を歩く時です。これは、観光地用にこうしようとした訳ではありません。普段の生活道路です。山の斜面に家がたくさん建っているのです。このような光景になっているのです。こうした細い道に、名もないお地蔵様、祠などがたくさん置かれています。当たり前のように置いてあるのです。花を飾っているのですが、これも特に見せようとしているのではなくて、気持としてお地蔵さまに供えるものとして、年中供えられているのです。

このような、ちょっとした解説があちらこちらにあります。ですので、歩いていて楽しい、見ていて楽しい感じになります。ここも、解説がなければ、石に穴があいているだけということになるのですが、このように解説があると、へーというようになります。このような解説が、道を歩いているとあちこちにあるので、飽きないですし、支笏湖の半分くらいという小さいところでも、一日では見て回れず、また来ようということになります。意図しているのではないのですが、結果としてそういう仕掛けになっています。

これは、私の近所の家なのですが、洋風建築の建物です。こういう一般の住宅にも、プレートがあり、こういう建築様式で、どの時代のどういうものなのだという説明があるのです。一般の民家なので、今後も残せるかは分からないのですが、鎌倉の風景を作っています。これは、私が支笏湖に赴任している間に始まった動きなのですが、非常にうれしいなと思いました。非常に狭く、民家も多いです。その民家が作っている景観は非常に大きいのですが、相続税の支払いなどで、そういう民家が次々と壊されて行った時代がありました。一般の民家にもラベリングしているということは、その地域に住む人がこんなに良いものがあるんだから、簡単に手放してはいけない、守っていかなくてはならない、という意識に更につながっていくのではないかと思います。私自身も、犬などを連れて散歩して歩いてもうれしいです。

### 千歳への提言

鎌倉は北海道と比べてかなり狭く、スケール感が違

うので、それに関する戸惑いがあります。また、鎌倉へは年間1700万から1800万人くらいが訪れるのですが、人口が17、8万人ですので、人口1人当たり100人の観光客を抱えるような都市ですが、住民の間では観光地という認識は少ないような気がします。それは、観光施設として作っているもの、観光用のイベントというのは皆無に等しくて、地域住民が楽しむものになっています。したがって、支笏湖では難しいのかもしれませんが、千歳の市街地で観光を考えるとときには、やはり生活を重視して、それを見に人が来るというものにした方が良いのかなと思います。そして、千歳川というのをテーマにして、一本の線にして、千歳川沿いの看板の整備ですとか、地域の方が千歳川の河川敷で楽しめるようなイベントをした方が、いいのではないかと思います。

(柳谷保護官様の卓話の全文を千歳ロータリークラブホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。)

## ピンクリボンチャリティーゴルフコンペの開催



当クラブ主催のピンクリボンチャリティーゴルフコンペが、10月8日にちとせインターゴルフクラブにて開催されました。このチャリティーコンペは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的としているピンクリボン運動を支援するために、社会奉仕委員会の担当により行われたもの。当日のコンペは、当クラブからの7名の他、総勢34名の参加がありました。またピンクリボン in Sapporo の事務局からは、実行委員長である札幌医科大学の大村東生助教授がゴルフコンペから参加された他、事務局長の木原くみこさん(三角山放送局パーソナリティー)も懇親会から参加されました。

ゴルフが終わった後は、引き続きレストランにて懇親会が行われました。当クラブからは、コンペに参加した7名の他、佐々木会長をはじめとした6名の会員が参加しました。佐々木会長の挨拶、今野社会奉仕委員長の挨拶ののち、ゴルフコンペの表彰が行われ、当クラブの福田武男会員が見事優勝を飾りました。なお、参加者の皆さんからのチャリティーとして17万8千円を、ピンクリボン実行委員会へ寄付いたしました。



今野社会奉仕委員長の挨拶



優勝の福田会員



佐々木会長から大村委員長へチャリティー金の贈呈

### 出席率

今回：69.0% (10月7日=40/58、実数)  
 確定：81.0% (9月16日=47/57、うちメーキャップ 0名)

### ニコニコBOX

#### 佐々木 金治郎 会長

(1) 昨夜10月6日夜8時より、テレビ北海道の旅番組「名湯秘湯ベスト20」で、秘湯の部第1位となりました。皆様のおかげです。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

(2) 10月10日支笏湖紅葉祭りが開催されます。天気の良いようですので、是非支笏湖へ。

#### 大澤 雅松 会員

(1) 千歳商工会議所瀧澤会頭内定、おめでとうございます。

(2) 10月5日苫小牧民報60周年祝賀会終了いたしました。10月11日、千歳民報が紙齢15000号に達します。クラブからの広告ありがとうございます。

(3) 10月15日～10月21日まで、新聞週間です。千歳に本社のある唯一の日刊新聞社、千歳民報をよろしくお願いします。

(4) 私の母校(苫小牧東高校)の大先輩、鈴木章氏がノーベル賞を受賞します。

(5) 次男が早稲田大学グリーンクラブの部長になりました。

#### 榊原 潤 会員

10月10～11日の2日間、支笏湖紅葉祭りが開催されます。是非お出かけください。

本日のニコニコ集計 3名 12,000円